



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東  
 コード番号 3600 URL https://www.fjx.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)松尾 勇治 (TEL) 075(463)8111  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,681	7.4	124	—	144	329.7	121	541.3
2020年3月期第1四半期	1,566	△0.7	10	34.2	33	△7.9	19	135.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 105百万円(83.2%) 2020年3月期第1四半期 57百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	88.62	—
2020年3月期第1四半期	13.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,492	9,033	79.9
2020年3月期	10,560	9,037	79.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,385百万円 2020年3月期 8,340百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	62.50	62.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2021年3月期の期末配当予想は未定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,107	△1.7	190	168.0	221	102.0	178	184.8	129.73
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 通期の業績予想については、現時点において新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響は不透明であり、現段階では今後の状況の予測は極めて困難であることから、未定としております。今後、通期の業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ―社(社名)―、除外 ―社(社名)―
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,468,093株	2020年3月期	1,468,093株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	91,385株	2020年3月期	91,385株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,376,708株	2020年3月期1Q	1,376,736株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響は不透明であり、今後の状況の予測は極めて困難であるため未定としております。今後、通期の業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令により、商業施設の営業休止や企業活動の停滞、外出自粛、インバウンド需要の激減など、個人消費はもちろん、経済活動全般に甚大な影響がおよび、極めて厳しい状況となりました。

当社グループにおきましても、昨冬から続いていた日本向け衣料品の減産傾向がさらに強まった上に、中国では春節休暇の延長や移動制限により事業活動が大幅に制約されるなど、国内外共に工業用縫い糸の受注・生産状況が悪化する一方で、国内の手芸関連業界では、使い捨てマスクの供給不足と外出自粛をきっかけとした手作りマスクなどの需要の増加で、国内の家庭用縫い糸の受注が急増するなど、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、かつて経験のない商況となりました。

これらの状況に加え、昨年春以降に実施した販売価格改正により販売単価が上昇したこともあって、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,681百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

また利益面につきましては、売上高の増加に加え、上述の販売価格改正による利益率の改善効果や、営業活動停滞や国内の関連イベントの中止等に伴う販管費の減少もあって、営業利益は124百万円（前年同期は10百万円）、経常利益は144百万円（前年同期比329.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は121百万円（前年同期比541.3%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### 日本

当社グループにおきましては、当第1四半期連結累計期間には、当社は2020年4月から6月まで、国内子会社は2020年2月から4月までの業績が連結されているため、2か月のずれがあることや、それぞれの事業分野や販売地域も異なるため、状況は各社ごとに若干の相違が見られるものの、昨冬以降続く衣料品の減産傾向に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、工業用縫い糸の受注状況は一段と悪化しました。

しかし一方で、家庭用縫い糸の製造販売事業も行う当社におきましては、先述の通り、家庭用縫い糸の受注が急増し、工業用縫い糸の受注減を上回る結果となりました。

これらにより当セグメントの売上高は1,400百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

また当社におきましては、増収に加えて上述の販売価格改正による利益率の改善効果や営業活動停滞や関連イベントの中止等に伴う販管費の減少もあって、セグメント利益は109百万円（前年同期は0百万円の損失）となりました。

#### アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第1四半期連結累計期間には、2020年1月から3月までの業績が連結されております。

当期間は、アジアセグメントの主となる中国におきまして、新型コロナウイルス感染症拡大が深刻な状況となり、都市封鎖を含む移動制限や春節休暇の延長に加え、春節休暇明けも感染拡大防止のため、事業活動は大幅に制限され、物流も滞るなど、生産面、販売面共に大きな制約を受けました。

これらにより、当セグメントの売上高は281百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

また利益面につきましても、中国子会社における減益が響いてセグメント利益は8百万円（前年同期比43.7%減）にとどまりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて68百万円減少し、10,492百万円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の増加115百万円、電子記録債権の増加129百万円、固定資産の増加107百万円があったものの、現金及び預金の減少273百万円、たな卸資産の減少177百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて63百万円減少し、1,458百万円となりました。主な増減は、その他(流動負債)の増加44百万円があったものの、買掛金の減少55百万円、賞与引当金の減少32百万円、役員退職慰労引当金の減少39百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4百万円減少し、9,033百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加33百万円、その他有価証券評価差額金の増加43百万円があったものの、為替換算調整勘定の減少53百万円、非支配株主持分の減少48百万円などがありました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響は不透明であり、業績予想数値の算定を行うことが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を公表いたします。

詳しくは本日別途公表いたしました、「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,385,605	2,112,025
受取手形及び売掛金	1,177,668	1,293,577
電子記録債権	195,831	325,787
たな卸資産	2,872,562	2,694,844
その他	78,049	106,990
貸倒引当金	△12,037	△11,641
流動資産合計	6,697,680	6,521,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,432,886	2,016,538
その他(純額)	1,226,136	738,780
有形固定資産合計	2,659,022	2,755,318
無形固定資産		
その他	207,163	199,272
無形固定資産合計	207,163	199,272
投資その他の資産		
投資有価証券	667,885	729,022
その他	340,194	298,689
貸倒引当金	△11,515	△11,691
投資その他の資産合計	996,563	1,016,020
固定資産合計	3,862,749	3,970,610
資産合計	10,560,430	10,492,194
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	417,400	362,052
未払法人税等	24,397	22,744
賞与引当金	57,214	25,173
資産除去債務	5,169	7,500
その他	194,942	239,418
流動負債合計	699,124	656,889
固定負債		
役員退職慰労引当金	221,662	182,647
退職給付に係る負債	137,742	134,499
資産除去債務	34,322	34,322
その他	429,606	450,248
固定負債合計	823,333	801,718
負債合計	1,522,458	1,458,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	771,087
利益剰余金	6,526,873	6,560,420
自己株式	△109,249	△109,249
株主資本合計	8,098,963	8,145,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,073	159,136
為替換算調整勘定	238,483	185,033
退職給付に係る調整累計額	△112,893	△104,735
その他の包括利益累計額合計	241,663	239,434
非支配株主持分	697,345	648,569
純資産合計	9,037,972	9,033,586
負債純資産合計	10,560,430	10,492,194

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,566,417	1,681,792
売上原価	1,130,636	1,148,198
売上総利益	435,781	533,594
販売費及び一般管理費	425,605	409,423
営業利益	10,175	124,171
営業外収益		
受取利息	1,221	906
受取配当金	14,518	13,933
賃貸料収入	5,946	5,601
その他	13,961	6,544
営業外収益合計	35,647	26,986
営業外費用		
支払利息	201	33
賃貸料収入原価	2,454	2,469
その他	9,469	3,852
営業外費用合計	12,125	6,354
経常利益	33,698	144,802
特別利益		
固定資産売却益	85	—
特別利益合計	85	—
特別損失		
固定資産売却損	367	579
固定資産除却損	4	0
特別損失合計	371	579
税金等調整前四半期純利益	33,412	144,223
法人税、住民税及び事業税	14,641	19,644
法人税等調整額	△2,593	482
法人税等合計	12,047	20,127
四半期純利益	21,364	124,095
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,340	2,096
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,024	121,999



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	21,364	124,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,291	43,063
為替換算調整勘定	45,138	△70,305
退職給付に係る調整額	6,101	8,157
その他の包括利益合計	35,949	△19,084
四半期包括利益	57,313	105,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,350	119,769
非支配株主に係る四半期包括利益	12,963	△14,758

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,229,832	336,584	1,566,417	—	1,566,417
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76,317	175,829	252,146	△252,146	—
計	1,306,150	512,414	1,818,564	△252,146	1,566,417
セグメント利益又は損失(△)	△960	14,460	13,500	△3,324	10,175

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△3,324千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,400,468	281,324	1,681,792	—	1,681,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,531	168,652	213,183	△213,183	—
計	1,444,999	449,977	1,894,976	△213,183	1,681,792
セグメント利益	109,055	8,140	117,196	6,975	124,171

(注) 1 セグメント利益の調整額6,975千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。